

# わたしのまちづくり



「市民主体のまちづくり」と言われてみなさんは何か具体的なイメージがありますか？  
ここでは、主体的に活動している市民に情報課職員が取材したことを紹介します。



今回は、リニモテラススクリーンアップ作戦に参加されたのをきっかけに、市内のさまざまなイベントに参加している中村さんにお話を伺いました。



なかむら まき  
中村 麻希 さん

## リニモテラススクリーンアップ作戦とは

リニモテラス公益施設(仮称)に愛着を持ってもらうため、リニモテラス運営協議会のメンバーが中心になってリニモ長久手古戦場駅北側の建設予定地や隣接する長久手中央2号公園で毎月第1土曜日清掃活動を行っていました。

情報課職員(以下情)：今日はよろしくお願ひします。

中村：よろしくお願ひします。

情：早速ですがリニモテラススクリーンアップ作戦に参加したきっかけを教えてください。

中村：昨年の8月にリニモ長久手古戦場駅北側にある長久手中央2号公園で開催された「ながくて夏祭りinリニモテラス」で観光交流協会の人に声をかけていただいたのがきっかけです。同年の4月に長久手市に引越してきたんですが、前に住んでいた地域でも清掃活動に参加していたので、似たようなイベントがこっちでもないかなって、ちょっと探していたんです。

情：では、リニモテラススクリーンアップ作戦はびったりのイベントだったんですね。イベントに参加してみてもいいですか？

中村：とてもよかったです。つながりが増えました。

情：知り合いはたくさん増えましたか？

中村：たくさん増えました。子育てはそれだけつながりの輪が広がります。イメージがあると思うんですけど、実は狭い範囲の中での話なんです。知り合うのは、同じ歳くらいの子どもがいるママやパパたちに

なりがちで。だからいろいろな人たちと関われるのが新鮮でした。そこで知り合った人が新しいイベントに誘ってくれて、そこでまた新たなつながりが生まれて。最近ではどのイベントに行っても知り合いに会いますね。

情：引越してきて1年で、どのイベントに行っても知り合いがいるってすごいですね。

中村：それに、子どもも一緒に参加してるんですけど、子どもたちも楽しみながら地域のために何かできていってるっていうのがあるんですね。ちょっとした地域貢献でも社会とつながってるなあって実感できます。

情：「まちづくり」に参加できてるなって。社会とのつながりって、つながりって聞くと「人と人」って思いがちですけど、社会とのつながりって大切ですよ。社会とつながってるって、そこに自分の居場所があるってことですよ。それでは、市民のみなさんへメッセージをお願いします。

中村：「まちづくり」とか「社会貢献」って聞くとかちょっとハードルが高く感じてしまうかもしれませんが、実はそんなことな

くて、長久手市って本当にイベントが充実してるんですよ。四季を感じるイベントも多いし、子ども大人も楽しめるイベントが本当にたくさんあります。そういうのに参加すると、みんなのつながりの輪がどんどん広がっていく。それも「まちづくり」の二環なのかなって思います。だから、楽しそうだな、興味あるなってイベントがあったらぜひ積極的に参加してみてください。普段あまり関わることのない世代の人と出会うきっかけにもなって面白いですよ。

